

伊集院保健所感染症情報

2024年第17週（令和6年4月22日～令和6年4月28日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症 管内に咽頭結膜熱警報を発令しました

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第14週	第15週	第16週	第17週	先週からの増減	第16週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	3.40	2.00	1.00	0.20	↘	3.34	↘
COVID-19	-	-	-	4.40	4.20	1.00	2.80	↗	3.34	↘
咽頭結膜熱	3	1	-	2.33	1.67	2.67	4.00	↗	2.02	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	1.00	3.67	2.33	4.67	↗	3.57	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	2.00	4.33	1.67	1.67	→	5.49	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.14	↘
手足口病	5	2	-	0.00	0.00	2.33	2.67	↗	1.49	↗
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	→
突発性発しん	-	-	-	0.33	0.00	0.00	0.33	↗	0.37	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.08	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↘
RSウイルス感染症	-	-	-	0.33	0.00	0.33	0.33	→	1.47	↗
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
COVID-19入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			該当なし							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC ゴールデンウィークの海外渡航時に気をつけたい感染症

海外では、国内に常在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症が報告されています。海外で感染症にかからないようにするために、感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けるほか、海外渡航のためのワクチンも含めた渡航前の準備を万全にすることが重要です。【感染症エクスプレス@厚労省より抜粋】

○食べ物や水を介した消化器系の感染（A型肝炎、腸チフスなど）

・食事は十分に火の通った信頼できるものを食べるようにし、生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。また、A型肝炎については国内で承認済みのワクチンの接種で予防することができます。

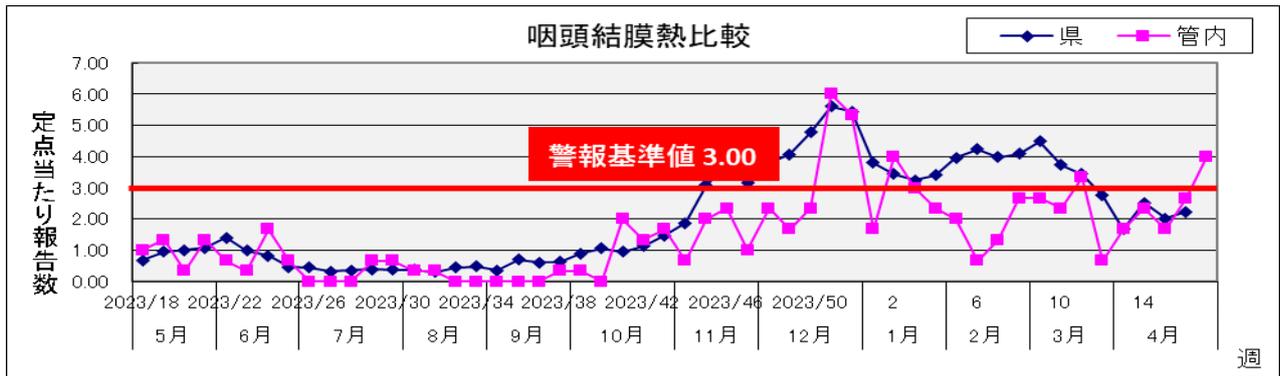
○蚊を介した感染症（マラリア、デング熱、日本脳炎、黄熱など）

・蚊から感染する感染症には、マラリアやデング熱、日本脳炎などがあります。

病原体を媒介する蚊が生息する熱帯・亜熱帯地域では、できるだけ肌を露出せず、虫除け剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。

● 注意すべき感染症

● 咽頭結膜熱（管内警報発令中！）

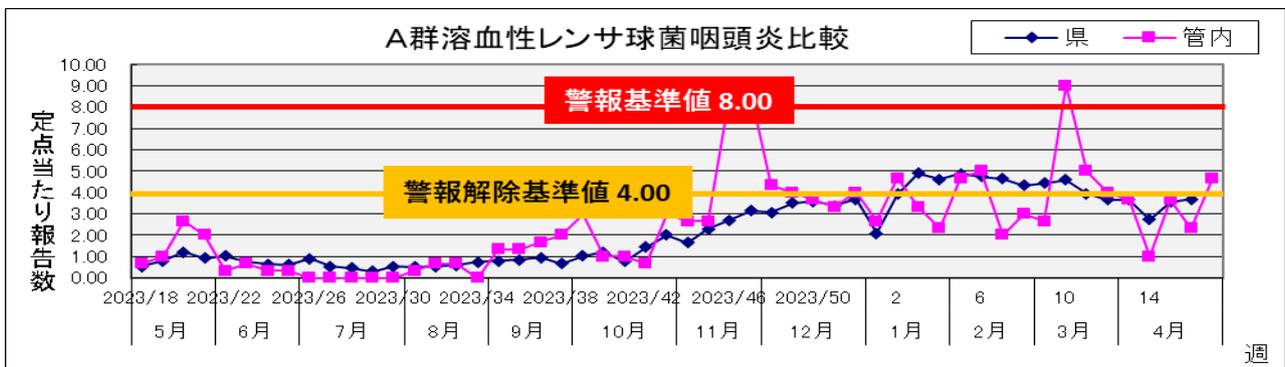


今週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の8人（定点当たり2.67）から4人多い12人（4.00）でした。年齢別では、1歳（5人）、3歳（2人）、4歳・5歳・8歳・10歳～14歳・20歳～（各1人）の順に多い報告でした。

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによって起こる疾患で、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。通常、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染です。

予防法として、感染者と密接な接触を避け、流行時には流水とせっけんによる手洗い、うがいを励行することです。

● A群溶血性連鎖球菌咽頭炎



今週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性連鎖球菌咽頭炎の報告数は、前週の7人（定点当たり2.33）から7人多い14人（4.67）でした。年齢別では、4歳（4人）、9歳（3人）、5歳・7歳（各2人）、1歳・2歳・8歳（各1人）の順に多い報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛まつ感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。予防には、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況4/22～4/28（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週はCOVID-19による出席停止が4人、インフルエンザB型による出席停止が1人、感染性胃腸炎・溶連菌感染症が各1名ずつ報告されています。

自治体名	疾患名 インフルエンザB型	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	新型コロナウイルス感染症
日置市	1	0	1	2
いちき串木野市	0	1	0	2
三島村	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0
計	1	1	1	4